

膵切除術における術前栄養評価の検討に関する研究

1. 研究の対象

2022年9月～2023年8月に当院で膵臓の手術治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

・背景、目的

医療技術の向上から膵切除術後も長期経過が良好な患者さんが増えている一方で、膵性糖尿病やNASH（非アルコール性脂肪肝）などの代謝性合併症が発症する場合も少なくありません。代謝性合併症が発症すると、治療が必要になったり、患者さんのQOLが低下したりするため、発症予防が大きな課題です。

本研究では、当院において膵切除術を受けた方について、術前に行った栄養評価と術後経過の関連性について術式別に後方視的に検証し、重点的な栄養管理が必要な対象者を明らかにして、より効果的な栄養サポート体制の構築につなげていくことを目的としています。

・方法

当院の診療録・データベースの情報を収取し、解析することで実施されます。

3. 研究期間

研究許可日より5年間

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：術式、術前治療の有無、術前治療内容、性別、身長、体重、体成分分析結果（骨格筋量、ECW/TBW、TBW/FFM、体脂肪量、位相角など）、血液検査結果（Alb、CRP、BUN、Cre、AST、ALT、 γ -GTP、TG、t-cho、Na、K、Cl、Ca、 α 1酸性糖蛋白、プレアルブミン、血中亜鉛など）、術後合併症の有無、パソクレパゼ処方の有無 など

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

電子カルテから4の情報を取得します。

6. 試料・情報の公開

本研究成果については年に1度所定の文書により研究の進行状況を病院長宛てに報告し、学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行います。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用を行いません（利用を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL：048-722-1111／FAX：048-722-1129

研究責任者：埼玉県立がんセンター 栄養部 武井牧子

-----以上